

せりたより

二(行)二
芹田地区
住民自治協議会



七瀬南部・副区長とゆく
七瀬通り〜大豆島街道

七瀬界隈は、北から「七瀬中町」

「七瀬南部」「七瀬」の三町に分かれています。元は多くの瀬(川)が流れる農村でしたが、国鉄や信越本線の開発に伴い工場や商店、住民が急激に増えたことなどが背景となって、昭和9年に分町に至ったとか。
今回は、七瀬南部の東西を抜ける、通称「七瀬通り」から「大豆島街道(七瀬南部と南隣の境界線信号まで)」を、生まれも育ちも七瀬南部の伊澤副区長のナビゲーションで歩きました。

神社を二町が協力して管理

七瀬南部奉賛会 七瀬中町奉賛会 鶴賀七瀬連合奉賛会

お祭りなどの行事や敷地内の維持・運営は、南部と中町それぞれの奉賛会が連携し合い「鶴賀七瀬連合奉賛会」として行っている。
毎年、4月第二or三日曜日に春祭り、9月23日に宵祭り、9月24日に本祭りを行っている。

七瀬観音堂 白山稲荷合殿神社



7月25日(土)境内で七瀬・七瀬中町の三町合同夏祭りも開催されました

案内人



前区長(6年間) 祭り好き
七瀬南部副区長 伊澤則昭さん(77)

七瀬南部公民館



人々が寄り合ってきた温度が感じられる趣ある公民館。御神輿の保管庫が敷地内にあり、お祭りの際は、公民館から「宮出し」し、白山稲荷合殿神社に「宮入り」するのだとか。いもいも体操やお茶のみサロン、花火やもちつきなどもここで行っている。

左 たかた大豆島ほしなと書いてある。その他の文字は読めなかった。ここを起点に、道は「長野管平線」と「大豆島街道」に分岐する。
昭和2年(1927年)に造られたらしい

昭和8年創業 かわい自転車



三代目 川合弘文さん

昔は音楽が趣味でした。自転車は家業です。好き過ぎる。うと逆に販売にならなういんですよ



店先で28年間暮らす「カメ吉」(メス説あり)

日本大師達磨

明治4年創業のだるま屋さん。なんと「必勝だるま(商標あり)」の元祖だとか



だるまさん 乾燥中



女将さん 飯島亜矢子さん

夏期は緑日の金魚屋さんもやっていて、町の夏祭りにも金魚すくいとかヨロイすくい協力させてもらってます



お母さん 小坂美佐子さん

中学を卒業して15で埼玉からこの店にお手伝いに来て、もう60年以上になるね(笑)

佐々木そば店



上を向いて
ロゴ視覚



長野都市ガス南側ガードを上がった七瀬信号あたり〜「七瀬南部東」信号まで

旧七瀬通り商店街について「そば屋のかず」さんに聞きました



七瀬南部奉賛会会長

佐々木そば店 四代目 小坂和彦さん(57)

昔はどんな通りでしたか?

通りの両側全部がお店で、お肉屋さんも四本足(豚)、二本足(鶏)と2軒ありました。衣類から生活用品まで揃わないものはなかったようです。昔はこの通りも土道で、ボクが小学校1年生くらいの時に車用の道路に舗装されました。それまでは若穂や大豆島方面から人の買い出しが多く、運搬用に馬が通っていたようです(笑)
昭和の頃には郵政

の厚生施設も近くにあって、結婚式が入ると1日に80人前のもりそばを2回出前...なんて日常だったので、漆のせいろも山積みがありました。漆器といえば殺菌効果があるといひます。ウチにも直径1m大のお蕎麦のこね鉢がありましたが、何年か前にボロボロになってきたので木曾の漆器屋さんまで行って漆を塗り直してもらいました。塗り直したお蕎麦のこね鉢が

直しはお金も手間もかかりますが、先代から受け継がれてきたものなので。今も毎日使っています。それと、昨年世界したウチの親父が作った1960年代当時の商店街一覧があります。

す、すごい...! そういえば、通りのお店で今も見かける行燈もお父さんが作られたとか

近くに作業場を借りて店の改築で出た廃材を加えて作って置かせてもらっていました。手を動かすのが好きな人でしたね。



※今号のウラ面はありません